

2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）喜多 伸夫
 問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 （氏名）小林 徳太郎 TEL 03-6401-5111
 半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	10,944	15.4	196	9.0	239	8.2	141	18.2
2025年12月期中間期	9,486	△19.6	179	—	221	288.2	119	407.0

（注）包括利益 2026年12月期中間期 148百万円（53.7％） 2025年12月期中間期 96百万円（47.4％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	16.28	—
2025年12月期中間期	13.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	9,440	2,010	20.1
2025年12月期	8,662	1,856	20.2

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,900百万円 2025年12月期 1,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.9	450	12.1	510	2.5	370	15.6	42.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年12月期中間期	8,874,400株	2025年12月期	8,874,400株
2026年12月期中間期	205,338株	2025年12月期	205,338株
2026年12月期中間期	8,669,062株	2025年12月期中間期	8,668,843株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社又は各社等の登録商標又は商標です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当中間連結会計期間の概況>

当中間連結会計期間においては、国内経済は雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えましたが、中東情勢や米国の通商政策の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、生成AIやAIエージェントに代表される急速な技術革新を背景に、業務効率化や生産性向上等を目的としたIT投資需要が堅調に推移している一方で、IT人材不足や求められる技術領域の拡大の継続により業界全体における競争は激化しており、組織体制の整備や一層の強化が求められております。

このような状況において、当社グループは、「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をミッションと定め、中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、ストック型ビジネスモデルの拡大に継続して取り組むとともに、AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化等を通じ、変化に柔軟かつ俊敏に対応してまいります。

当中間連結会計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

なお、当連結会計年度以降の成長戦略の実現に向け、経営判断を事業特性に応じて最適化するため、事業の一部を取引形態に合わせて管理区分を変更したことから、当中間連結会計期間より、「プロダクト&サービス」に含めていた事業の一部を、「ソフトウェアセールス&ソリューション」の区分に変更しております。詳細は（セグメント情報等）の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。下記の前年同期比較情報については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① プロダクト&サービス

MFP向けソフトウェア製品(*1)販売において、サブスクリプションモデルへの移行の本格化により、当中間連結会計期間において一時的な収益の下押しが進行したものの、その他の自社製品の販売が前年を上回ったことにより、セグメント全体では増収増益となりました。

主力自社製品である「LifeKeeper」(*2)販売は、案件獲得が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。クラウド型ワークフロー「Gluegent Flow」やIDの管理をクラウドで行う「Gluegent Gate」等の「Gluegentシリーズ」(*3)販売においても、生成AI機能を標準搭載した新料金プランへの移行が概ね完了したことにくわえ、ユーザー数の増加が好調に推移したことで、増収増益となりました。

これらにより、売上高は2,483百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は314百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

② コンサルティング&インテグレーション

文教向けのシステム開発・構築支援及び生成AI導入支援事業において、案件獲得が順調に推移したものの、その他の事業において前中間連結会計期間の案件獲得が想定以上に好調に推移した反動により、セグメント全体では減収減益となりました。

これらにより、売上高は1,687百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は210百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

③ ソフトウェアセールス&ソリューション

Elastic N.V. 関連商品(*4)の販売が好調に推移し、セグメント全体では増収増益となりました。

これにより、売上高は6,773百万円（前年同期比26.1%増）、セグメント利益は92百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間においては、売上高は10,944百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は196百万円（前年同期比9.0%増）、受取利息及び持分法による投資利益等の計上により経常利益は239百万円（前年同期比8.2%増）、法人税、住民税及び事業税等の計上により親会社株主に帰属する中間純利益は141百万円（前年同期比18.2%増）となりました。

当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本＋有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：237百万円（前年同期比21.9%増）

ROIC（年率換算数値）：13.0%（前年同期は14.3%）

(※1) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP (Multifunction Peripheralの略) という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(※2) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(※3) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(※4) Elastic N.V. 関連商品

オープンソース型的高速検索・分析エンジン「Elasticsearch (エラスティックサーチ)」を活用して、生成AIの精度を向上させる「RAG構築支援コンサルティングサービス」。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、現金及び預金の増加561百万円等の要因により、8,402百万円(前連結会計年度末比10.8%増)となりました。

固定資産は、ソフトウェアの減少30百万円等の要因により、1,038百万円(同3.9%減)となりました。

この結果、総資産は、9,440百万円(同9.0%増)となりました。

② 負債

流動負債は、契約負債の増加569百万円等の要因により、7,027百万円(前連結会計年度末比9.7%増)となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加18百万円等の要因により、402百万円(同0.7%増)となりました。

この結果、負債合計は、7,430百万円(同9.2%増)となりました。

③ 純資産

純資産合計は、利益剰余金の増加141百万円等の要因により、2,010百万円(前連結会計年度末比8.3%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年2月12日に公表した「2025年12月期 決算短信」に記載の通りであり、変更していません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,586,717	4,148,586
売掛金及び契約資産	3,248,024	3,500,740
仕掛品	2,623	5,216
前渡金	437,766	522,688
その他	305,860	225,079
流動資産合計	7,580,992	8,402,310
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,575	22,519
その他（純額）	38,010	33,564
有形固定資産合計	63,585	56,084
無形固定資産		
ソフトウェア	277,815	247,301
その他	1,441	1,441
無形固定資産合計	279,256	248,743
投資その他の資産		
投資有価証券	448,425	449,671
退職給付に係る資産	4,974	—
差入保証金	108,432	80,744
繰延税金資産	122,497	148,767
その他	53,859	54,547
投資その他の資産合計	738,189	733,731
固定資産合計	1,081,031	1,038,558
資産合計	8,662,023	9,440,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,006,139	1,928,856
リース債務	19,507	21,644
未払法人税等	43,312	117,354
契約負債	3,952,929	4,522,667
株主優待引当金	12,564	1,832
役員賞与引当金	—	1,400
その他	370,501	434,090
流動負債合計	6,404,953	7,027,845
固定負債		
退職給付に係る負債	330,105	349,098
リース債務	27,730	16,335
長期預り金	11,632	—
役員株式給付引当金	30,865	37,508
固定負債合計	400,333	402,942
負債合計	6,805,287	7,430,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	385,493	526,647
自己株式	△80,598	△80,598
株主資本合計	1,786,415	1,927,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△948	△1,011
繰延ヘッジ損益	1,923	411
為替換算調整勘定	△35,231	△26,425
その他の包括利益累計額合計	△34,256	△27,025
新株予約権	104,577	109,539
純資産合計	1,856,735	2,010,081
負債純資産合計	8,662,023	9,440,869

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,486,440	10,944,719
売上原価	6,905,393	8,197,620
売上総利益	2,581,046	2,747,098
販売費及び一般管理費	2,401,120	2,550,932
営業利益	179,926	196,165
営業外収益		
受取利息	13,352	19,382
為替差益	66,878	—
デリバティブ評価益	—	6,437
持分法による投資利益	11,439	8,834
違約金収入	—	25,000
その他	8,751	4,540
営業外収益合計	100,422	64,194
営業外費用		
支払利息	202	414
為替差損	—	19,228
デリバティブ評価損	57,213	—
外国源泉税	1,377	925
その他	2	4
営業外費用合計	58,796	20,573
経常利益	221,553	239,786
特別利益		
投資有価証券売却益	—	522
特別利益合計	—	522
特別損失		
固定資産除却損	—	1,764
退職給付制度終了損	—	4,949
特別損失合計	—	6,714
税金等調整前中間純利益	221,553	233,594
法人税、住民税及び事業税	69,629	116,922
法人税等調整額	32,540	△24,481
法人税等合計	102,169	92,441
中間純利益	119,383	141,153
親会社株主に帰属する中間純利益	119,383	141,153

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	119,383	141,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	△63
繰延ヘッジ損益	△6,580	△1,512
為替換算調整勘定	△14,357	7,016
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,843	1,789
その他の包括利益合計	△22,836	7,231
中間包括利益	96,547	148,384
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	96,547	148,384

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	221,553	233,594
減価償却費	14,816	41,258
受取利息及び受取配当金	△13,397	△19,821
支払利息	202	414
違約金収入	—	△25,000
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△522
持分法による投資損益(△は益)	△11,439	△8,834
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	81,684	△244,397
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,096	△2,592
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,805	△77,282
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,504	18,993
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	7,059	6,643
契約負債の増減額(△は減少)	△144,080	528,082
前渡金の増減額(△は増加)	105,134	△84,921
未払消費税等の増減額(△は減少)	△64,054	93,068
その他	△24,312	△55,811
小計	93,961	402,872
利息及び配当金の受取額	23,748	26,710
利息の支払額	△202	△414
違約金収入の受取額	—	25,000
法人税等の還付額	—	20,327
法人税等の支払額	△236,055	△44,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	△118,548	429,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,809	△2,950
無形固定資産の取得による支出	△132,419	△3,007
差入保証金の差入による支出	△377	—
差入保証金の回収による収入	504	21,638
投資有価証券の売却による収入	—	1,935
デリバティブ取引による収入	—	101,920
その他	6,600	550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,502	120,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△42	△21
長期借入金の返済による支出	△33,000	—
リース債務の返済による支出	△11,529	△10,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,571	△10,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,821	21,974
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△335,444	561,869
現金及び現金同等物の期首残高	3,677,914	3,586,717
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,342,469	4,148,586

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	プロダクト& サービス	コンサルティング &インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,365,088	1,749,314	5,371,737	9,486,140	300	9,486,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	5,708	1,164	7,003	△7,003	—
計	2,365,219	1,755,022	5,372,902	9,493,144	△6,703	9,486,440
セグメント利益	284,918	213,613	72,615	571,147	△391,220	179,926

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△6,703千円は、セグメント間取引消去△7,003千円及び報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務委託収入等の付随的な収益300千円であります。

(2) セグメント利益の調整額△391,220千円は、セグメント間取引消去△7,003千円及び全社費用△384,216千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社は、「中間財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
9,091,900	236,891	103,279	54,369	9,486,440

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)
	プロダクト& サービス	コンサルティング&インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,483,292	1,687,744	6,773,381	10,944,419	300	10,944,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	158	5,582	1,180	6,920	△6,920	—
計	2,483,451	1,693,327	6,774,561	10,951,339	△6,620	10,944,719
セグメント利益	314,340	210,444	92,430	617,214	△421,049	196,165

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△6,620千円は、セグメント間取引消去△6,920千円及び報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務委託収入等の付随的な収益300千円であります。

(2) セグメント利益の調整額421,049千円は、セグメント間取引消去△6,920千円及び全社費用△414,128千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当連結会計年度以降の成長戦略の実現に向け、経営判断を事業特性に応じて最適化するため、事業の一部を取引形態に合わせて管理区分を変更したことから、当中間連結会計期間より、「プロダクト&サービス」に含めていた事業の一部を「ソフトウェアセールス&ソリューション」の区分に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものを開示しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「中間財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
10,521,331	228,957	121,574	72,855	10,944,719

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報
 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	プロダクト& サービス	コンサルティング&インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
収益認識の時期						
一時点で移転される財又は サービス	534,392	210,404	4,777,535	5,522,333	—	5,522,333
一定の期間にわたり移転さ れるサービス	1,830,696	1,538,909	594,201	3,963,807	300	3,964,107
顧客との契約から生じる収益	2,365,088	1,749,314	5,371,737	9,486,140	300	9,486,440
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,365,088	1,749,314	5,371,737	9,486,140	300	9,486,440

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務受託収入等の付随的な収益300千円であり
 ます。

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	プロダクト& サービス	コンサルティング&インテ グレーション	ソフトウェア セールス&ソ リューション	計		
収益認識の時期						
一時点で移転される財又は サービス	476,395	177,023	6,199,426	6,852,844	—	6,852,844
一定の期間にわたり移転さ れるサービス	2,006,897	1,510,721	573,955	4,091,574	300	4,091,874
顧客との契約から生じる収益	2,483,292	1,687,744	6,773,381	10,944,419	300	10,944,719
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,483,292	1,687,744	6,773,381	10,944,419	300	10,944,719

(注)「調整額」の区分は報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の業務受託収入等の付随的な収益300千円であり
 ます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。